2008年 9月 1日 No.71

まちだの教育

MACHIDA

2008年 市制50周年

あなどれません。町田

携帯電話用 QRコード

発行:町田市　編集:学校教育部 教育総務課　〒194－0022 町田市森野1－33－10　TEL 042－722－3111　ホームページ http://www.city.machida.tokyo.jp

主な内容

2面 学校選択制度受付開始
3面 小・中学校受入枠一覧表
イベントカレンダー
4面 市立小学校使用教科書採択
研究推進校の発表会

町田市教育プランを策定しています

町田市教育委員会では、昨年度末に教育委員会教育目標及び基本方針の内容や構成を大幅に改訂し、再構築を行いました。現在は、この教育目標及び基本方針に沿って、教育委員会が目指している長期的展望、施策、事業を体系的にまとめた計画である「町田市教育プラン」の策定を進めています。

「町田市教育プラン」は、教育目標及び基本方針に基づいて施策、事業を体系化した基本プランと、町田市が抱える課題を解消するための施策、事業を体系化した重点プランによって構成される予定です。

「町田市の教育に関する市民意識調査」について

「町田市教育プラン」策定の資料とするため、2008年8月11日、無作為に抽出した市内にお住まいの4000人の方を対象に「町田市の教育に関する市民意識調査」を実施しました。

調査方法は、郵送によるアンケート方式で行い、現在集計作業を行っています。集計結果につきましては、町田市のホームページに掲載いたします（10月予定）。調査にご協力いただいた市民の皆さまには、紙面を借りてお礼を申し上げます。

策定の今後の日程

今回ご協力いただいた「町田市の教育に関する市民意識調査」の反映、教育関係附属機関等各種機関とのヒアリング、調整を行った上で、市民の皆さまの「町田市教育プラン」に対するご意見をお伺いするため、11月頃パブリックコメントを行うことを予定しています。パブリックコメントの実施時期が近づきましたら、市の「広報まちだ」にてお知らせしますので、皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

策定の背景

教育関係法令の改正や制定が続き、教育新時代がスタートする中、町田市教育委員会では、これまで行ってきた施策や事業をあらためて見直し、「町田市教育プラン」を策定することで今後の展望を明確にすることにしました。

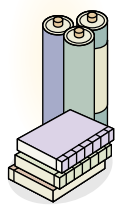
また、このプランは、教育委員会の活動についての点検・評価にも活用します。

現在の取り組み

「町田市教育プラン」を策定するにあたり、「町田市教育プラン策定検討委員会」を立ち上げ、外部の有識者にアドバイザーとして参加していただき、検討を行っています。

ご自宅に古文書が眠っていませんか？

～歴史史料の保存にご協力下さい～



自由民権資料館では、開館以来、町田市に関連のある古文書等の古い歴史史料（以下「古文書」という。）の調査、整理、保存に取り組んでいます。

当館では市民の皆さまから市域の古文書の取り扱い、保管に関するご質問・ご相談をお受けしています。

古文書を所蔵されている方からの相談例

①改築・引っ越しに際して

「母屋・物置の建て替えや、引っ越しに際して、古文書の扱いに困っている。」

②保管について

「劣化を最小限にとどめ、古文書をよりよい状態で保管する方法を知りたい。」

③古文書を発見した

「家や物置の整理をした際に、古文書が出てきた。」

等の各種ご相談をお受けしています。

また、この他にもご質問がありましたら、お気軽にご連絡下さい。

古文書を所蔵されているお宅をご存じの方へのお願い

所蔵している古文書の扱いに困っているご近所・お知り合いの方がいらっしゃいましたら、散逸を防ぐためにも、ぜひ情報をご提供下さい。

古文書の保存・活用に向けて

古文書は、大切に保管されている場合もありますが、ほこりを被り、放置されていることもあります。状態の悪い古文書は、一見古い紙の束のようですが、然るべき整理をおこなえば、当時の家や村の様子をはじめとして、町田市、さらには日本の歴史を知るための重要な手がかりともなります。

また、古文書は手書きのものが多く、ほとんどがこの世に一点しか存在しないため、それが失われることで、過去の歴史を知る機会まで失われてしまいます。

貴重な歴史史料を未来に引き継ぐためにも、ぜひご理解、ご協力をお願いいたします。

問自由民権資料館
☎734・4508

▲自由民権資料館に持ち込まれた古文書

環境にやさしい学校づくりの推進

～みどりのカーテン～

町田市教育委員会は、「環境にやさしい学校づくり」を推進するため、市立小学校3校（木曽境川小学校、成瀬台小学校、町田第四小学校）で、みどりと環境の学校づくりを進めています。

木曽境川小学校では、校外に借りている農園を利用し、植物の栽培に積極的に取り組んでいます。今年は、ミニトマト「アイコ」を種から育てており、子どもたちは、栽培や収穫を楽しんでいます。

また、理科の授業では、3年程前から、「みどりのカーテン」というヘチマやゴーヤ、朝顔等のつる性の植物をネット等にはわせる植物のカーテンづくりに取り組んでいます。

「みどりのカーテン」は、エアコンの使用に頼るだけではなく、自然の力によってできる限り涼しく過ごす方法として、全国各地で実践されています。窓から入り込む日射量のうち、熱エネルギーの8割以上をカットすることができるなど、校舎のまわりにあるさまざまな熱を教室に入れないことによって、涼しく過ごすことができます。また、植物の葉には、水分を蒸発させる蒸散作用があるため、周囲の温度を下げるという効果もあります。

今年度からは、成瀬台小学校でも、地域と学校が一体となって「みどりのカーテン」を育てており、町田第四小学校では、カーテンから取れるゴーヤやきゅうり等の野菜を教室で食べたり、家に持ち帰ったりしています。

このカーテンが、夏の間に大きく成長することで、9月の残暑時にも、子どもたちが、快適に授業を受けられることが期待できます。

今年度の成果を検証し、これからも環境にやさしい学校づくりを積極的に進めていきたいと考えています。

▲町田第四小学校の「みどりのカーテン」